取扱説明書〈ＤＳ:〔32A00〕〉

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
この時計を末永くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さいますようお願い申しあげます。
尚、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

◆安全上のご注意

ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、次の表示で区分されている内容につきましては必ずお守り下さい。

⚠ 警告・・・この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠ 注意・・・この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに『人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

◆製品の特徴

①この時計は、自動巻（手巻き付）機械時計です。
②クロノグラフ機能付です。
③日付、パワーリザーブインジケーター付です。
④てんぷを衝撃から守る、耐震軸受を使用しています。

◆製品仕様

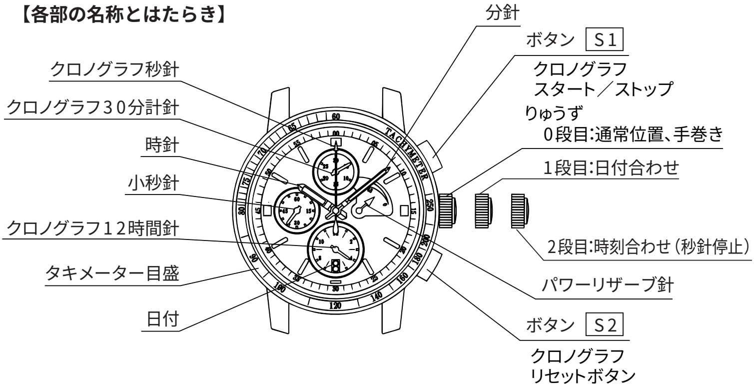
（1）機　　能…時・分針・小秒針、日付、パワーリザーブインジケーター、
　　　　　　　クロノグラフ６０秒・３０分・１２時間積算計
（2）振 動 数…28,800振動／1時間
（3）精　　度…日差＋15秒～－10秒（常温5℃～35℃において）
（4）駆動方式…ぜんまい巻（自動巻、手巻き）
（5）石　　数…40石
（6）持続時間…48時間以上

※上記精度は、工場出荷時に調整されたものです。
※また上記精度は、ムーブメントを一定の条件下で、静的状態にて測定したものです。携帯精度とは異なります。
※機械時計の精度は、「日差」です。

※機械時計の特性上、ご使用になる条件（携帯時間・時計の姿勢・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ具合等）によっては、日差の範囲を超える場合があります。
※1日のみの誤差で判断せず、1週間程度の誤差で判断するようにしてください。
※製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

◆ご使用方法

【各部の名称とはたらき】



【自動巻（手巻き）機構について】

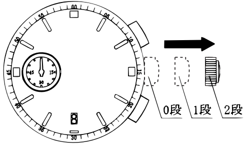
①この時計は自動巻（手巻き付）機械時計です。
②ぜんまいは時計を腕に付けた状態で通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
　また、りゅうずを回してぜんまいを巻くこともできます。
③止まっている時計をご使用になるときは、りゅうずを回して時計を始動させて下さい。秒針が動き出したら日付・時刻を合わせてください。
④ぜんまいを巻く際にはりゅうずを右回り（時計回り）にゆっくり回して下さい。なお、りゅうずは左（反時計回り）では空転するようになっています。
　ぜんまいは、パワーリザーブ針が「48」の目盛を指し示すまで巻き上げてください。（それ以上巻いてもりゅうずは空回りします。）
⑤この時計は、ぜんまいが充分に巻き上げられた状態で約48時間動き続けます。
　※ただし、クロノグラフが作動していると、48時間より短くなります。
⑥ぜんまいの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、精度を保つためにも1日8時間以上携帯することをおすすめします。なお、時計を腕に付けないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

◆時刻及日付の合わせ方

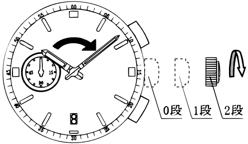
時計が動いてから、時刻・日付の合わせをしてください。

【時刻の合わせ方】

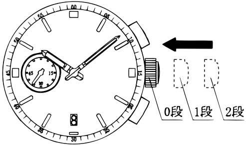
①秒針が６０秒の位置にきた時、りゅうずを2段目まで
引き出します。
（秒針は停止します。）



②りゅうずを左に回して現在時刻に合わせます。
（りゅうずを左に回す：針は進む方向に回転します。）
※この時計は日付つきのため午前・午後を間違えないようにセットして下さい。
日付が変わる時が「午前0時」となります。
※時刻を合わせる際には、針を一旦正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにして下さい。



③りゅうずを通常の位置（0段目）まで押し込みます。



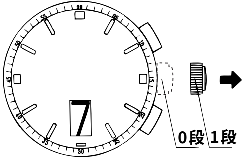
【日付の合わせ方】

⚠ 注意

※時刻表示が午後9時から午前2時までの間は日付の切換作動中ですので、日付合わせは避けて下さい。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても切り替わらないことや故障の原因となる場合があります。日付合わせを行う場合は、この時間外に針を移動させてから行って下さい。

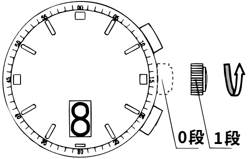
①りゅうずを１段目まで引き出します。

※ この時計のりゅうずは２段に引けます。

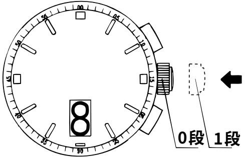


②りゅうずを右に回して今日の日付に合わせます。

③りゅうずを通常の位置（０段目）まで押し込みます。



◎日中に日付が切り替わる場合
時針が２周して１日（２４時間）です。午前と午後が合っていません。時針を１２時間進めて、再度時刻合わせをおこなってください。



◎月末の日付修正について
小の月では日付の修正が必要になりますので、翌月の１日になりましたら、日付を「１日」に合わせて下さい。

◆クロノグラフ機能の使い方

1/5秒単位で最大12時間まで計測可能です。

※ クロノグラフ機能とは、ストップウオッチ機能と時刻表示機能を合わせ持った機能のことです。

※ 使い始めには、クロノグラフ秒針が0位置に合っているか確認してください。合っていないときは S２ ボタンを押すことで修正できます。

※ S１ ボタンを続けて押すことで、積算計測ができます。

※ S２ ボタンは、クロノグラフ停止時のみ作動します。

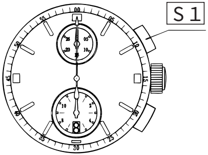
> ※ クロノグラフ機能の使い始めには、ぜんまいの巻上げが充分であることを確認してください。パワーリザーブが10時間以下ではクロノグラフ機能は作動しません。

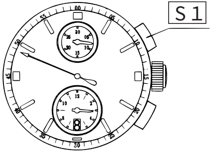
【各部の名称とはたらき】



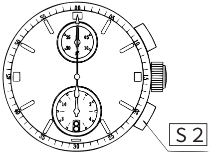
【普通の使い方】　ボタン操作順序：｜Ｓ１｜ → ｜Ｓ１｜ → ｜Ｓ２｜

スタート ————▶ストップ ————▶リセット





（3時間08分48秒8）



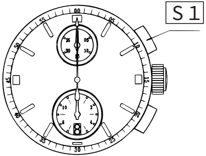
Ｓ１ボタンを押すとクロノグラフ秒針が動き始めます。

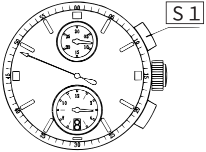
計測したいタイミングで Ｓ１ボタンを押すとクロノグラフ針が止ります。

Ｓ２ボタンを押すとすべてのクロノグラフ針が元の位置に戻ります。

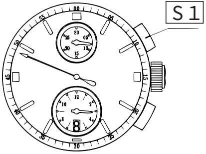
【時間計測を積算で行う場合】 ボタン操作順序: S1 → S1 → ・・ → S1 → S2

スタート ――――▶ ストップ ――――▶ 再スタート



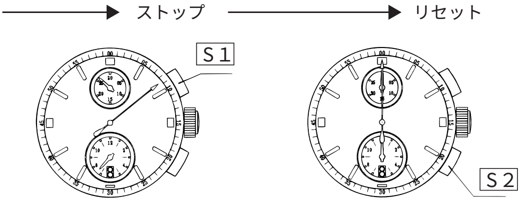


（3時間0 8分4 8秒8）



S 1 ボタンを押すと
クロノグラフ秒針が
動き始めます。

計測中に S 1 ボタン
を押すことで、繰り
返し作動させること
ができます。

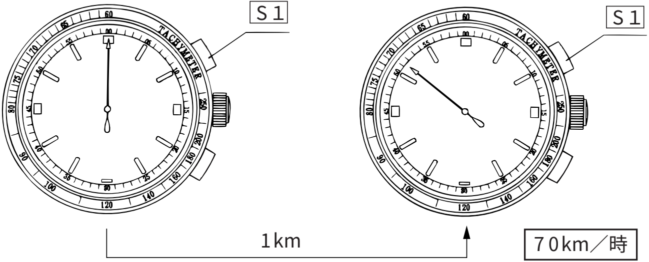


（7時間26分08秒6）

S 1ボタンでクロノグラフ針を止めた後、S 2ボタンを押して０位置へ針を戻します。

◆タキメーターの使い方

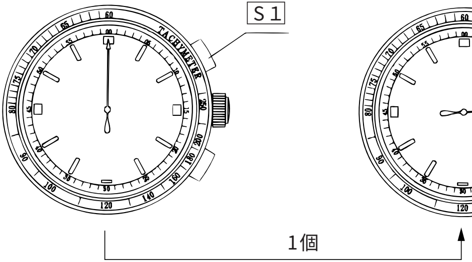
時速や単位時間当たりの出来高などが簡単に測定できます。
【時速を測定する場合】ボタン操作順序： S１ → S１ → S２
・１ｋm走るのに要した時間を計測します。
・クロノグラフ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。
（下の例は70）



【1時間あたりの出来高を求める場合】ボタン操作順序: S1 → S1 → S2

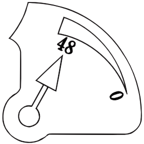
・製品1個が出来上がるのに要した時間を測定します。

・クロノグラフ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。（下の例は250）



250個／1時間あたり。

◆パワーリザーブインジケーター



パワーリザーブインジケーターとは、ぜんまいの巻上げ状態を時間で示し、残り駆動時間がひと目で解かる機能です。
ぜんまいの巻上げ残量の表示はパワーリザーブ針によって表示していますので、針の指す時間が巻上げ残量時間です。
※ このぜんまいの巻上げ残量時間はあくまでも目安ですので、表示の時間と実際の残量時間には差がありますので予めご了承下さい。
本製品は自動巻の製品にパワーリザーブインジケーター機能を備えていますので、腕に付けている間は腕の動きにより、ぜんまいが常に巻上げられ、パワーリザーブ針の表示は全巻（４８H）方向を表示しています。
尚、腕の動きによりぜんまいの巻上げ量は異なりますので、常に全巻き方向を表示しているとは限りませんのでご了承下さい。腕から外し、ぜんまいを巻上げなければ時間の経過とともにパワーリザーブ針の表示はゼロ方向へと移動します。また、本製品は手巻き機構が付いていますので、りゅうずを回してぜんまいを巻くことによりパワーリザーブ針は全巻（４８H）方向に移動します。

◆お取扱いにあたって

（1）防水性能について

⚠警告

①日常生活用防水（3気圧）の時計は、洗顔等には使用できますが、水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
②日常生活用強化防水Ⅰ（5気圧）の時計は、水泳などには使用できますが、スキンダイビングを含めて全ての潜水には使用できません。
③日常生活用強化防水Ⅱ（10・20気圧）の時計は、スキンダイビング（素潜り）には使用できますが、空気ボンベを使用するスキューバー潜水及びヘリウムガスを使用する飽和潜水などには、使用できません。

タイプ ＼ 使用条件		●一時的にかかる水滴（洗顔・雨など）	●水泳・ヨットなどの水上スポーツ、漁業・農業などの水仕事水道の蛇口等強い水流	●空気ボンベを使用しないスキンダイビング	●スキュバーダイビング（空気ボンベ使用）	●水中でのりゅうず操作並びに水滴のついたままでのりゅうず操作
非 防 水	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示のない時計。	×	×	×	×	×
日常生活用防　水	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示のある時計。	◯	×	×	×	×
日常生活用強化防水Ⅰ	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示とともに裏ぶた又は、文字板に5BAR表示のある時計。	◯	◯	×	×	×
日常生活用強化防水Ⅱ	ケースの裏ぶたにWATER RESISTANT表示とともに裏ぶた又は、文字板に10BAR、15BAR又は20BAR表示のある時計。	◯	◯	◯	×	×

※時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、上記使用可能範囲にそって正しくご使用下さい。

⚠注意

④りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用下さい。りゅうずがねじロック式のものであれば、しっかり締め込まれているか確認して下さい。
⑤水中あるいは水分のついたままりゅうずおよびボタン操作をしないで下さい。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
⑥非防水時計については、一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意下さい。万一、水や汗でぬれた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取って下さい。
⑦日常生活用防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてるなどのことは避けて下さい。リミット以上の水圧がかかり防水不良となる場合があります。
⑧日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水をよく洗い流し、洗った後はよく拭き取りサビなどが出ないようにして下さい。
⑨皮革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響がでる場合があり、脱色・接着はがれなどの不具合も起こすことがありますので、特に水の中で使う場合には、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用下さい。
⑩時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的の場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合には、そのまま放置せず、お買い上げ店、またはオリエント時計サービスセンターにご相談下さい。

（2）ショックについて

①ゴルフなどの軽スポーツによる影響はありませんが、激しいスポーツの場合は取り外して下さい。
②床面に落とすなどの激しいショックは与えないで下さい。



（3）磁気について

①家庭用電気製品程度の磁気には心配ありません。

⚠注意

②磁石、磁気健康器具（肩こり治療器・腕輪など）、電気マージャン台などの強い磁気を発生するものには、近づけないで下さい。
③時計にANTIMAG.ⅠまたはANTIMAG.Ⅱと表示してある時計は磁気に耐えられる性質を強化してありますが、強い磁気を発生する器具に密着またはより近づけることはお避け下さい。

- ●ANTIMAG.Ⅰ… 4,800A/m（ 60ガウス）
- ●ANTIMAG.Ⅱ…16,000A/m（200ガウス）まで耐えられます。

④強い磁気を発生する所に長時間放置しますと部品が磁化して、故障の原因となることがありますので、ご注意下さい。
⑤磁気の影響を受けると一時的な進み遅れが生じることがありますが、磁気から遠ざけると元の精度で動きます。この場合は時刻を修正して下さい。

⑥発生する磁気の強さは表を参考にして下さい。

● 身の回りの磁気製品・電気製品の磁界の強さ

製　品　名	磁界の強さ（単位:A/m）	判　定		磁界の強さ（単位:A/m）	判　定	
	密 着 状 態	ANTIMAG Ⅰ	ANTIMAG Ⅱ	5cm離れた状態	ANTIMAG Ⅰ	ANTIMAG Ⅱ
紙止め用磁石（DC）	23,900〜71,600 （300〜900ガウス）	×	×	200〜1,200 （2.5〜15ガウス）	○	○
テレビ（AC・DC）	500〜1,200 （6〜15ガウス）	○	○	0〜400 （0〜5ガウス）	○	○
冷蔵庫の開閉部磁石（DC）	31,800〜63,700 （400〜800ガウス）	×	×	400〜3,200 （5〜40ガウス）	○	○
電話機のスピーカー部（DC）	2,400〜3,600 （30〜45ガウス）	○	○	300〜400 （4〜5ガウス）	○	○
電気カミソリ（AC）	6,400〜11,900 （80〜150ガウス）	×	○	400〜800 （4〜10ガウス）	○	○
音響製品のスピーカー部（DC）	600〜20,000 （8〜250ガウス）	△	△	0〜3,200 （0〜40ガウス）	○	○
各種家具の開閉部磁石（DC）	47,800〜63,700 （600〜800ガウス）	×	×	800〜1,200 （10〜15ガウス）	○	○
磁気パッド（DC）	47,800〜119,400 （600〜1,500ガウス）	×	×	0 （0ガウス）	○	○
磁気ネックレス（DC）	63,700〜95,500 （800〜1200ガウス）	×	×	40〜80 （0.5〜1ガウス）	○	○
ハンドバッグの開閉部磁石（DC）	28,700〜63,700 （360〜800ガウス）	×	×	0〜240 （0〜3ガウス）	○	○

※ 判定の ○ は影響無し、× は影響有り、△ は製品・機種によって異なります。
※ 上表の数値は目安です。磁界の強さは磁気製品・電気製品の機種により強弱が異なります。
※ 磁界の強さは距離の二乗に反比例しますので、密着状態と少し離れた状態でその数値は大きく異なります。

（4）振動について

強い振動を加えないで下さい。時計の進み遅れの原因になります。
（注：場合によっては、点検調整修理が必要になります。）

（5）温度について

常温〈5˚C～35˚C〉から外れた環境では、機能が低下したり停止する場合があります。

（6）化学薬品・ガスなどについて

ガス、水銀、化学薬品など（シンナー・ガソリン・各種溶剤、またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）が触れるとケース、バンド、文字板の変色や樹脂部品では、変色、変形、破損する場合がありますので十分ご注意下さい。

（7）付属部品について

⚠ 警告

バンドやピン等は乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談下さい。

（8）高温下での使用

⚠ 注意

サウナなどの高温下での装着は、火ぶくれ（火傷）になる可能性がありますので、ご使用をお避け下さい。

◆かぶれやアレルギーについて

⚠ 注意

体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチックなどにて皮膚がかぶれたり、肌に異常が認められたときは、直ちにご使用を中止し、専門医にご相談下さい。

◆ルミナスライトについて

商品によっては、針・文字板等にルミナスライトを使用しているものがあります。ルミナスライトは放射性物質を含まない安全な蓄光塗料（光を蓄えて発光する塗料）です。太陽光や照明光等の光を塗料に蓄えて発光します。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間の経過とともにだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際、ガラスの形状・蓄光材の厚み・まわりの明るさ・時計との距離・光の吸収度合などの諸条件により、発光の強さや時間には誤差を生じます。光の蓄え方が弱い場合、発光が弱かったり発光時間が短いことがありますのでご注意ください。

◆長くご愛用いただくために

⚠ 注意

（1） ケース・バンドのお手いれ

①ケース・バンドなどに付着した汚れや水分は時計機能を損なったり､皮膚の弱い方のかぶれや衣類の袖口を汚す原因となる場合があります。末永くご使用いただくために柔らかい布などで拭き常に清潔にしてお使い下さい。特にバンドは肌着類と同様、直接肌に接していますので、定期的に次の方法で汚れを取りご使用下さい。

【ケース】

汚れを柔らかい布などで拭き取って下さい。薬品などは変色の原因となりますので、使用しないで下さい。

【金属バンド】

石鹸水を付けた柔らかい歯ブラシで部分洗いをして下さい。このとき、非防水時計は水がケースにかからないように注意して下さい。汚れたままにしておきますと腐食・サビの原因ともなります。

【皮革バンド】

乾いた柔らかい布で、水分・汚れを取り除いて下さい。こすると色落ちすることがありますので注意して下さい。

【軟質プラスチックバンド】

ウレタン・ナイロンなどのバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどく

なりますと皮膚がかぶれたりする場合がありますので、時々石鹸水または水で洗って下さい。薬品などは変質の原因となりますのでご使用にならないで下さい。また使用期間によっては、材質が硬くなり、折れたり割れたりする場合がありますので、その際は新しいバンドと交換して下さい。
②ケースおよびバンドに水銀（体温計など）・薬品などが付着すると変色する場合がありますのでご注意下さい。
③バンドは指１本が入る程度の余裕を持たせ通気性をよくしてご使用下さい。また、皮革バンドは高温多湿になる場所での保管は避けて下さい。

（２） 回転ベゼルのお手入れ

回転ベゼル付きの商品はベゼルの下に汚れなどがたまり、機能が損なわれる場合がありますので、柔らかい歯ブラシで汚れを落とし清潔にしておいて下さい。

（３） 修理および点検のおすすめ

①バンドの交換以外の修理は、メーカー修理となります。また、点検・分解掃除もメーカーにて行います。お買い上げ店には、メーカーへ依頼するようお申し付けください。または、オリエント時計サービスセンターにお申し付けください。
②保油状態、汗・水分侵入の有無など、２～３年に１度の点検をおすすめします。点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。
③点検をする際は、防水性能を保つために、パッキン等の交換をおすすめします。また、ばね棒も必要に応じて交換して下さい。
④部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。

◆ 保証とサービスについて

※保証書は必ずお読み下さい

1. 保証について
   本製品が保証期間内に取扱説明書にそった正常なご使用状態で、万一故障が生じた場合には、保証書に従い無償で修理・調整いたします。保証書を添えてお買い上げ店またはオリエント時計サービスセンターにお持ち下さい。保証内容は保証書に記載されていますので必ずお読み下さい。
2. 補修用部品の保有期間について
   この時計の補修用部品の保有年数は、生産終了後通常10年間を基準としています。
   ※補修用部品とは、
   製品（時計）内部の時間機能のための機械体（ムーブメント）の部品です。
   ケース・ガラス・文字板・針・バンド・りゅうずなど製品の機能維持と直接関係ない外装部品は含まれていません。これらの外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承下さい。
3. 修理可能期間について
   原則として、正常なご使用であれば補修用部品の保有期間中の修理は可能です。ただし、修理可能時期は、ご使用条件・環境で著しく異なり、精度の劣化も修理によっては初期精度の復元が困難な場合がありますので、修理ご依頼の際には、現品持参の上、お買い上げ店とよくご相談下さい。
4. ご転居・ご贈答品の場合について
   ご転居・ご贈答品などで、お買い上げ店が遠隔地となり、保証サービスが受けられない場合にはお近くの当社サービスセンターにご相談下さい。
5. その他のお問い合せについて
   その他の保証とサービスについてご不明の点がありましたら、お近くの当社サービスセンターへお問い合わせ下さい。

INSTRUCTION MANUAL 〈DS: 〔32A00〕〉

Thank you for your purchase of our product. To ensure prolonged use and optimum performance, please read this instruction manual carefully and follow its directions.
Please keep this Instruction Manual at your hand, and refer when it is necessary.

◆ Safety precautions

In order to prevent injury to you and others as well as to avoid damage to property, make sure to read and follow the instructions marked with the symbols below:

⚠ **WARNING**	Failure to follow the instruction may cause death or serious injury.
⚠ **CAUTION**	Failure to follow the instruction may cause injury or damage the device.

◆ Product features

1) This is an automatic winding mechanical watch (which can also be wound manually).
2) It has a chronograph function.
3) It has a date display and power reserve indicator.
4) It uses vibration resistant bearings to protect the balance wheel from shocks.

◆ Product specifications

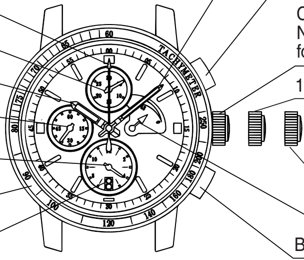
1) Functions: Hour and minute hands, small second hand, date and power reserve indicator, and chronograph (cumulative indicators for 60 seconds, 30 minutes, and 12 hours)
2) Number of oscillations: 28,800 per hour
3) Daily accuracy: +15 to -10 sec. (at normal temperature of 5 to 35℃)
4) Driving system: Coil spring (automatic or manually wound)
5) Number of jewels: 40
6) Operating time: 48 hours or more

※The daily accuracy specified above was correct when the watch was adjusted before the delivery at our factory.
※The precision above was measured while the watch was held still or movement took place in certain constant conditions. It will be different from the "precision when worn."
※The precision of a mechanical watch refers to its "daily accuracy."

※ Due to the characteristics of mechanical watches, the time may be off more than the "daily accuracy" would imply, when used in some conditions (position of the watch, movement of your arm, winding condition of the coil spring, etc.).
※ We recommend checking for any time deviations throughout a week.
※ The product specifications may be changed without prior notice.

◆ How to use the watch

[Name and function of each part]



[Automatic winding mechanism (can also be wound manually)]

① This is an automatic winding mechanical watch that can also be wound manually.

② The coil spring will be wound by natural wrist motion while it is worn. The coil spring can also be wound by turning the crown.

③ If the watch stops, turn the crown to wind the coil spring and start the watch. When the second hand starts to move, adjust the date and time until they are correct.

④ To wind the coil spring manually, turn the crown clockwise slowly. When you turn the crown counterclockwise, it will spin freely and does not wind the watch. Turn the crown clockwise until the power reserve indicator points at "48." (Turning the crown more will not wind the spring any further.)

⑤ The watch will run for approximately 48 hours after the coil spring is fully wound.
※However, if the chronograph is used, it will run less than 48 hours.

⑥ We recommend that you wear the watch on your wrist at least eight hours per day, to maintain the stated precision. Incomplete winding may cause the time shown to be advanced or delayed from the actual time. If you want to use the watch without wearing it on your wrist, we recommend that you manually wind the coil spring fully at a certain time each day.

◆ How to adjust time and date

After the second hand starts to move, adjust the time and date.

[How to adjust time]

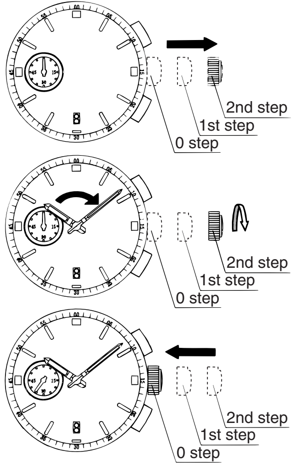
① When the second hand is at the 0 seconds position, pull the crown out to the 2nd step. (The second hand will stop moving.)

② Turn the crown clockwise to adjust the watch to the current time. (Turn the crown clockwise and the hand will advance.)

※Since this watch has a calendar function, please do not confuse the AM and PM settings when adjusting the time. The watch will change the date at 0:00 AM.

※In order to adjust the time precisely, first advance the hand a few minutes past the current time. Then move the hand back slowly to the correct time.

③ Press the crown into the normal position (0 step)



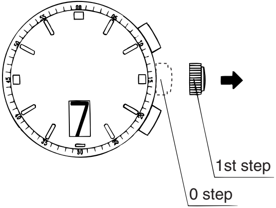
[How to adjust the time]

⚠CAUTION

Do not adjust the date between 9:00 PM and 2:00 AM, since the watch is changing the date during that period. If you adjust the date during this interval, the date shown may not change on the next day, or it may cause the watch to malfunction. To adjust the date during these hours, pull the crown out to the 2nd step and move the hour hand outside of this time range.

① Pull the crown out to the 1st step.

※This watch can also be pulled out to a 2nd step.

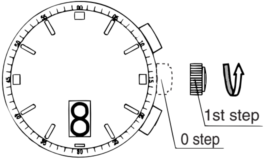


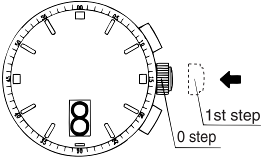
② Turn the crown clockwise to set the date display to today's date.

③ Press the crown in to the normal position (0 step).

※If the watch changes the date display at noon.
The hour hand turns completely around the face two times a day (24 hours). The watch was set by confusing AM with PM. Advance the watch 12 hours ahead and then set the time.

※Adjusting the date at the end of month
In months with less than thirty one days, you will have to adjust the date. Adjust the date on the 1st day of the next month for these months.





◆ How to use the chronograph functions

This chronograph can measure in units of 1/5 second, and span a maximum of 12 hours.

※ The chronograph has both a stopwatch function and time display function.

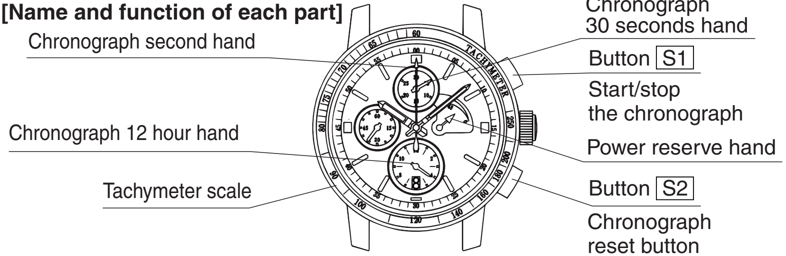
※ Before starting to use the chronograph, make sure the chronograph second hand is pointing at 0. If not, you can adjust it by pressing the S2 button.

※ If you keep pressing the S1 button, you can make cumulative measurements of time.

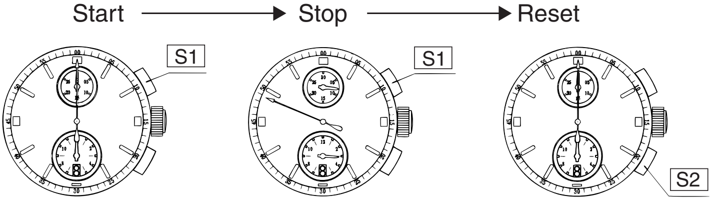
※The S2 button can only be used when the chronograph is stopped.

※ Before using the chronograph function, make sure the coil spring is fully wound. If the power reserve shown is less than 10 hours, the chronograph will not operate.

[Name and function of each part]



[Ordinary use] Button operations: S1 → S1 → S2



(3 hours, 08 minutes, 48 seconds and 8 ms)

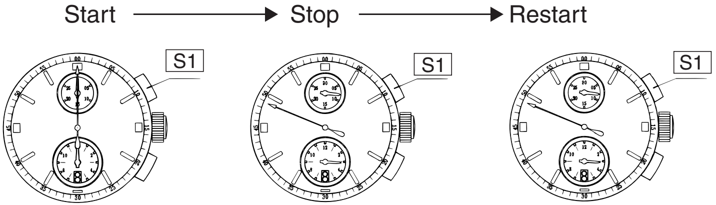
Press the S1 button to start the chronograph second hand.

Press the S1 button at the instant you want to measure and the chronograph hand will stop.

Press the S2 button, all the chronograph hands will return to their original positions.

[To measure accumulated time]

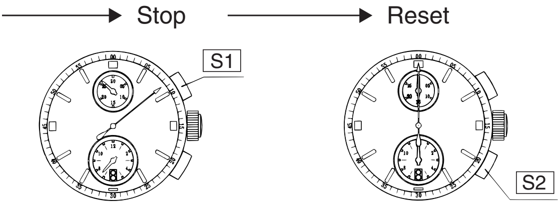
Button operations: S1 → S1 → . . → S1 → S2



(3 hours, 08 minutes, 48 seconds and 8 ms)

Press the S1 button, the chronograph second hand starts to move.

While measuring, press the S1 button and you can repeat the same operation.



(7 hours, 25 minutes, 08 seconds and 6 ms)

Press the S1 button to stop the chronograph. Then, press the S2 button to return the hand to the 0 position.

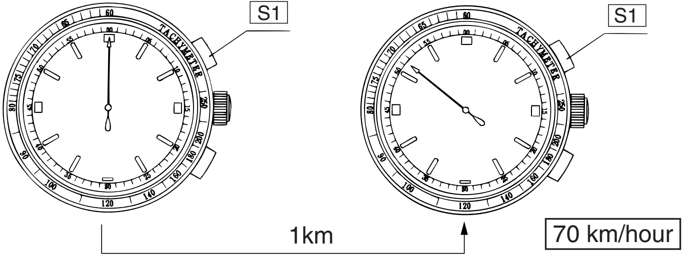
◆ How to use the tachymeter

Using the tachymeter, you can measure speed and the number of incidents per unit of time.

[To measure speed] Button operation: S1 → S1 → S2

- Measure the time needed to run 1 km.
- Read the number on the tachymeter where the chronograph second hand is pointing.

The example below shows that 70 km are being produced in one hour.

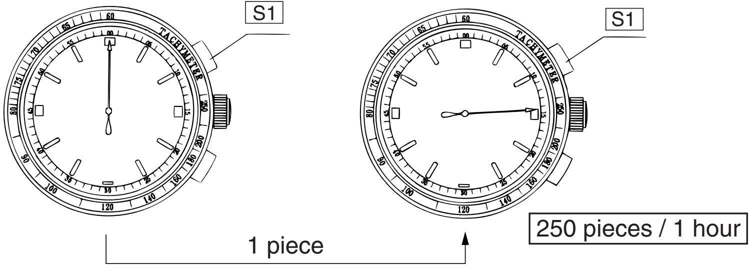


[To obtain the number of incidents per hour]

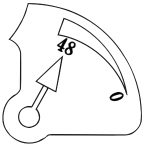
Button operation: S1 → S1 → S2

- Measure the time needed to make one item.
- Read the number on the tachymeter where the chronograph second hand is pointing.

The example below shows that 250 pieces are being produced in one hour.



◆ *Power reserve indicator*



The power reserve indicator shows the amount of tension left in the spring, as an amount of time. This way you can see approximately how long the watch will continue to run at a glance. The power reserve hand indicates the remaining amount of time the watch will operate by pointing to the remaining number of hours of operation.

※The remaining time shown is only an approximation. The actual running time may be different from the time shown.

This product has an automatic winding system, which comes with a power reserve indicator function. While wearing the watch, the spring will be kept wound by the motion of your arm, and the power reserve hand will continue to point to the fully wound position (48H). Depending on the amount you move your arm, the tension applied to the spring will vary, and therefore the indicator may not always indicate that the watch is fully wound. If you take off the watch, the spring will not keep being wound and the power reserve hand will move slowly toward zero, as time passes. Further, this watch has a manual winding mechanism so that the power reserve hand can be moved to the fully wound position (48H) by winding the crown.

◆ Handling precaution

(1) Water-proof performance

⚠WARNING

① A water-proof watch for every day use(3 atm.) is available for face-washing,etc., but avoid putting it in the water.
② A reinforced water-proof watch for every day use(5 atm.) is available for swimming, etc., but do not put it on when you go under water such as skin diving.
③ A water-proof watch for every day use(10 or 20 atm.) is available for skin diving, but not for scuba diving using air cylinder and saturation diving using helium gas.

Operating conditions / Type		Splashing the watch with water in daily life (when washing your face or wearing the watch in the rain, etc.) 	Swimming or engaging in sailing or other water sports, undertalking wark in water such as fishing or agriculture, exposing the watch to a storong flow of water 	Skin diving with out the use of air tank 	air tank (used for scuba diving) 	Operating the crown under water or oprating the crown white the watch is still wet not water-resistant 
Non water resistant	Any watch without "WATER RESISTANT" inscribed on the case back Water-resistant	×	×	×	×	×
Water resistant for everyday use	Any watch with "WATER RESISTANT" inscribed on the case back Water-proof **I**	○	×	×	×	×
Reinforced water resistant for everyday use1	Any watch with "WATER RESISTANT" inscribed on the case back as well as "5BAR" inscribed on the case back or watch face Water-proof **II**	○	○	×	×	×
Reinforced water resistant for everyday use2	Any watch with "WATER RESISTANT" inscribed on the case back as well as "10BAR" "15BAR" or "20BAR" inscribed on the case back or watch face	○	○	○	×	×

※Confirm an inscnption of water-proofness given on the face or back of the watch and use correctly according to the adove-mentioned scopes of availability.

⚠ CAUTION

④ Make sure the crown is pushed in (normal position) when using the watch. If your watch has screw-lock type crown and button, make sure the crown and button is securely tightened.

⑤ Do not turn or pull the crown or button under the water or while it is wet. Water may enter the watch and degrade its water-proof capability.

⑥ If you have a watch that is not water-proof, pay attention to even temporary water exposure (splashing water while washing your face, standing in the rain, etc.) or sweat. If the watch becomes wet from water or sweat, wipe it off using a dry, soft cloth.

⑦ Even if you are wearing a watch that is water-proof for everyday use, do not expose it directly to a powerful flow of water running from a faucet. Water pressure beyond the specified limit can be encountered and that may deteriorate the water-proof operation of the watch.

⑧ If a watch with reinforced water-proof qualities for everyday use is immersed in sea water, rinse the watch case with fresh water thoroughly. Then wipe the watch dry to prevent rust.

⑨ If a leather watchband is dipped in the water, it may lose its durability and be discolored or unglued. When using the watch in the water, replace the watchband with other material (metal or rubber) in advance.

⑩ There is a little humidity inside the watch. If the external temperature is lower than that inside the watch, the glass crown may become cloudy. If the cloud of moisture is only temporary, the internal mechanism will not be damaged. However, if it remains cloudy for a long time, or if there is moisture inside the watch, consult your dealer or the nearest ORIENT WATCH Service Center.

(2) Shock

① This watch is not affected by playing golf or some other light sport. When you are engaged in a more vigorous sport, you should take off the watch.
② Do not drop the watch on the floor or hit it against the hard surfaces.



(3) Magnetic field

① The watch is not influenced by the electromagnetic fieldsproduced by home electric appliances.

⚠ CAUTION

② Keep the watch away from strong magnetic fields such as permanent magnets, magnetic health aids (gadgets for relieving stiff shoulders, bracelets, etc.), electric mah-jong tables, etc.
③ If "ANTIMAG. I" or "ANTIMAG. II" is inscribed on the watch, it means that your watch has been made further resistant to the magnetism. However, do not bring it into contact with or closer to any device which produces strong magnetic fields.
- ANTIMAG. I can withstand a magnetic field up to 4,800 A/m (60 gauss)
- ANTIMAG. II can withstand a magnetic field up to 16,000 A/m (200 gauss)

④ If the watch is left in a strong magnetic field for a long time, its part will become magnetized and result in a malfunction.
⑤ The watch that is damaged by strong magnetic fields may gain or lose time for a while. However, if it is moved away from the magnetic field it will regain its original accuracy. In this case, correct the time.

⑥ **Refer to the table below for strength of the magnetism produced.**

● Magnetic fields of various magnetic products and electrical products.

Name of product	Magnetic field strength (unit: A/m)	Judgment		Magnetic field strength (unit: A/m)	Judgment	
	Proximity			Separated by at least 5 cm		
Magnet for holding papers (DC)	23,900 - 71,600 (300 - 900 gauss)	×	×	200 - 1,200 (2.5 - 15 gauss)	○	○
TV set (AC, DC)	500 - 1,200 (6 - 15 gauss)	○	○	0 - 400 (0 - 5 gauss)	○	○
Refrigerator magnet (DC)	31,800 - 63,700 (400 - 800 gauss)	×	×	400 - 3,200 (5 - 40 gauss)	○	○
Magnet in a telephone hand set	2,400 - 3,600 (30 - 45 gauss)	○	○	300 - 400 (4 - 5 gauss)	○	○
Electric shaver (AC)	6,400 - 11,900 (80 - 150 gauss)	×	○	400 - 800 (4 - 10 gauss)	○	○
Stereo speaker (DC)	600 - 20,000 (8 - 250 gauss)	△	△	0 - 3,200 (0 - 40 gauss)	○	○
Furniture magnet (DC)	47,800 - 63,700 (600 - 800 gauss)	×	×	800 - 1,200 (10 - 15 gauss)	○	○
Magnetic pad (DC)	47,800 - 119,400 (600 - 1,500 gauss)	×	×	0 (0 gauss)	○	○
Magnet for necklace	63,700 - 95,500 (800 - 1,200 gauss)	×	×	40 - 80 (0.5 - 1 gauss)	○	○
Magnet stone of handbag	28,700 - 63,700 (360 - 800 gauss)	×	×	0 - 240 (0 - 3 gauss)	○	○

※○: Not influenced. ×: Influenced. △: Varies by part or model

※The figures above are for reference only. The intensity of the magnetic field may vary with each magnetic product and/or electrical appliance.

※The intensity of the magnetic field is in inverse proportion to the distance from the magnetic source. Therefore, the intensity may be decreased significantly by moving objects a short distance apart.

(4) Vibration

Do not bang the watch. It may cause the time to change.
(Note: In some cases, inspection, adjustment, and repair may be necessary.)

(5) Temperature

If the watch is used outside the normal temperature range (5 to 35 ℃), it may keep time badly, or stop.

(6) Chemicals, gases, etc.

Note that if the watch comes into contact with gases, mercury, chemicals (thinner, gasoline, various solvents, or cieaners, adhesives, paints, medicines, perfumes, cosmetics containing any of those substances), the case, watchband, dial may be discolored and the resin parts may be discolored, or broken.

(7) About accessory parts

⚠ WARNING

Store the wristband pin and other small parts out of the reach of infants. If any small parts are swallowed, immediately contact a doctor.

(8) Use at high temperature

⚠ CAUTION

Do not use the watch at high temperatures, such as in a sauna. You may be burned when the watch heats up.

◆ Allergic reactions

⚠ CAUTION

If you have a skin rash or abnormally irritated skin due to exposure to leather, metal or soft/hard plastics, stop wearing the watchimmiediately and consult a dermatologist.

◆ About luminous light

Some watches have luminous hands and dials.

The luminosity is produced by a luminous paint (a paint that stores light and emits it) and is harmless; no radioactive substances are contained. The paint stores light-beam energy such as that from the sun and lighting equipment, and produces light by itself. As the emitted light comes from stored light energy, the luminance (brightness level) will weaken over time. The intensity and duration of luminance, which depend on the amount of light energy stored, will vary according to the watch glass shape, paint thickness, ambient brightness, distance between the watch and light source, and degree of light beam absorption. Please note that if insufficient light energy is stored, the intensity of luminance will be weak, or the duration of luminance may be short.

◆ For extended use

⚠CAUTION

(1) Maintenance of the case and watchband

① Dirt and moisture on the case or watchband may interfere with the watch functions, cause skin rashes in people with susceptible skin, or soil a person's cuffs or clothing. To ensure long use, use a soft cloth to wipe off any dirt and moisture and keep the watch clean at all times. Since the watchband makes direct contact with the skin, remove any dirt periodically as described below.

[Case]

Wipe off any dirt, using a soft cloth, etc. Do not use any chemicals because they may discolor the case.

[Metal watchband]

Wash the dirty parts, using a soft toothbrush dipped in soapy water. If the watch is left dirty, corrosion may form.

[Leather band]

Wipe off any moisture or dirt using a dry, soft cloth. Be careful not to scrub the band, or it may become discolored.

[Soft plastic band]

It is not necessary to take special care of urethane or nylon watchbands. However, since some kinds of dirt may irritate the skin, wash the band with plain or soapy water occasionally. Do not use chemicals that might deteriorate the band. The material may harden, crack or break. In this case, replace it with a new watchband.

② Mercury (such as found in a thermometer) on the case or watchband: Chemicals may cause the watch or band to change color.

③ Tighten the band so that you can just slip one finger between the band and your wrist, in order to allow air to circulate. Do not store the leather band in high temperature or high humidity conditions.

(2) Cleaning the rotating bezel

Dirt may get stuck to a wristwatch with a rotating bezel and degrade its operation. Clean off any dirt using a soft toothbrush.

(3) Recommendation for repairs and checks

① Repairs, other than replacing the band, must be performed by the watch manufacturer. Checking or disassembly and cleaning must also only be done by the manufacturer. Please insist on repairs by the manufacturer at the shop where you purchased the watch. Or, ask an Orient Watch Service Center.

② We recommend having the watch checked once every 2 to 3 years for lubrication oil, sweat and moisture contamination. Depending on the results, the watch may need to be adjusted or repaired.

③ When having the watch checked, we recommend replacing the seals and other consumable parts, in order to maintain its water-proof performance. Also, replace the watchband as needed.

④ When parts are replaced, please insist on "genuine parts."

◆ Warranty and service

※ **Make sure to read the warranty card.**

1. Warranty

   If the watch fails to operate under normal operation conditions within the warranty period, return it to the shop in which you purchased it or to our service center, along with its warranty card. We will repair or asjust your watch while it is under warranty free of charge.The terms of warranty are described on the warranty card.

2. Period repair parts will be available

   Normally the repair parts for this watch will be available for ten years after production of the watch is discontinued.

   ※ Repair parts

   These mechanical components in the watch movement can be replaced if necessary.

   Other external parts not directly related to the function, such as the case, crystal, fase, hands, or crown, are not considered repair parts covered under the warranty. Replacement of these non repair parts may use parts different from the originals.

3. Repair period

   As a rule, repair of the watch is possible for the same period that repair parts are available. In some cases, the precision cannot be restored by repairing the watch. Therefore, make sure to consult the shop which the watch was purchased for repair requests.

4. Moving and gift item

   If you cannot return to the shop where the watch was purchased, contact your local service center for repairs.

5. Other inquiries

   If there are any other questions concerning warranty and service, contact your local service center.